



大阪錦画日々新聞第41号
 文庫10-8068-32

明治八年五月東京浅草
 の宿丁差配人庄兵五の目所質高
 相摸屋音次郎の店行き或る家まで質高
 見て貫心なにと申とあつて音次郎へ金百円を
 用意して同運あつての暴悪のよしと橋場の
 總泉寺前より庄兵五のかくし持らる白刃をよつて
 無二無三逆縁あり百円と音三郎の咽喉を
 突くキヤツと斗ひり物音を巡査が聞つて
 直ちに捕まへ音次郎
 へ存命覚つて
 実中人畜
 世あつて
 天の網目のゆる
 みとを知ら
 ぶ子滅亡悲し
 ころ報知
 九十八号三出でり
 文花堂
 あん

新報
 文庫

富士受板
 海老板

大阪錦画日々新聞紙41号 文庫10-8068-32